

## 平成25年6月 第2回 市議会定例会



子供たちは元気いっぱい(湘南海岸公園プール)

# 一般会計補正予算など11議案を可決

平塚市議会は、平成25年6月5日から6月28日まで、24日間の会期で6月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から防災対策費の増額をはじめとする一般会計補正予算案や、土屋霊園の管理方法の変更に伴う条例の改正案などが提出され、慎重な審議を行った結果、報告案件を除く9議案を原案どおり可決しました。

また、議員から「神奈川県最低賃金改定等についての意見書」など2件の議案が提出され、いずれも原案どおり可決しました。

※議案と審議結果は8面に掲載しています。

## 災害対策用備蓄の配備などを審議

### 万が一の水害に備え 400万円を追加補正

去る4月6日夜半から翌7日未明にかけて降った大雨により金目川の水位が上昇し、金目地区で堤防の一部が損壊しました。この一件を受けて、今定例会では、防災対策費を増額する一般会計補正予算が計上されました。

補正予算の内容は、金目



損壊した金目川の堤防(南金目)

川が増水した際に金目川右岸に設ける一時避難所として協定を締結した千須谷公民館、片岡神社、熊野神社、南金目神社の4か所に防災資機材や食糧、水、生活必需品などを備蓄するためのもので、406万2000円が計上されました。

### 待機児童対策として 民間保育所に補助金

昨今、保育所への入所を希望しているにもかかわらず、満員であるなどの理由で入所できない「待機児童」が全国で問題となっており、待機児童の解消に向けて今回、民間の保育所である柳町保育園の施設整備に對して補助金を交付するため、861万円の補正予算が計上されました。

そのほか、教育環境の充

### 土屋霊園の管理に 「指定管理」を導入

土屋霊園の管理に指定管理者制度を導入するに当たって必要な規定を整備するため、「土屋霊園条例の一部を改正する条例」が市長から提案され、原案どおり可決しました。

### 人権擁護委員の 推薦に同意

人権擁護委員として齋藤美代子氏(再任・西真土)、岩崎良太郎氏(再任・万田)、澤田隆博氏(新任・中里)を推薦する議案に対して、各氏を適任者として同意しました。

### 7名の議員を表彰 市功労者の功績をたたえる

今定例会の初日に、市議会議員在職10年以上となる議員が、市政の発展に尽力した功績をたたえられ、本市功労者として市長から表彰されました。

また、全国市議会議長会からも市議会議員在職10年の表彰があり、副議長から表彰状の伝達披露がありました。

表彰された議員は次の7氏です。

- ▽松本敏子議員(日本共産党平塚市議会議員団)
- ▽白井照人議員(平塚クラブ)
- ▽岩田耕平議員(平塚クラブ)
- ▽出縄喜文議員(平塚クラブ)
- ▽須藤量久議員(清風クラブ)
- ▽片倉章博議員(清風クラブ)
- ▽黒部栄三議員(清風クラブ)

# 総括質問

## 湘南フォーラム

府川 正明 議員

### まちづくり振興財団の経営状況

**問** 公益財団法人まちづくり振興財団は、公益目的事業のほか、収益事業として駐輪場事業などを行っているが、今後の収益確保に向けた取り組みを伺う。

**企画政策部長** 公益目的事業を充実させるには、収益事業の充実が必要である。昨年度整備した駅西口第3駐輪場と錦町第2駐輪場からの増収を見込むとともに、各収益事業を工夫して収益性の向上を図っていく。

### ②安心・安全のまちづくり

**問** 今まで取り組んできた防災対策で満足しているのか。また、今後どのような

防止策を伺う。

**市長** これまでも、チェック体制を構築して積算の研修を行うよう指示してきた。今回は公共工事積算システムの操作ミスが原因であるため、今後は設計入力作業に細心の注意を払い、発注時のチェック体制をさらに強化する。また、システムへの誤入力防止のための改善をすでに行った。

### 山原 栄一 議員

### 落合市長 就任2年を経て

**問** 落合市長は、任期の後半2年間の市政運営に、どのように取り組むのか。

**市長** 市長に就任してから、景気や財政収入などの問題がある。また少子高齢化が進むことで、いろいろな行政サービスや社会保障に「お金掛け」が必要である。選挙時に挙げたマニフェストを当時と同じように進められるかという難しい部分もあるが、少子高

### 市長に問う

**①工事入札について**  
**問** 本市の積算ミスにより工事の入札が無効となる事態が発生した。積算ミスに対するチェック体制と再発

6月定例会では16人の議員が、災害対策、福祉政策、まちづくり、産業の活性化などに関する質問を行いました。

※質問者の文責により質問と答弁の要旨を掲載しています

な取り組みを行うのか。

**市長** 津波対策や市民への情報提供などの課題に取り組み、一定の成果があった。今後は、市民自身による防災活動を促進するため、地域防災計画の概要版を全戸に配布する。また、実践的な津波避難訓練や、避難所の運営体制を充実・強化するための訓練、避難所におけるプライバシーの保護や女性の視点に立った備蓄の拡充、避難誘導看板の増設などに取り組んでいく。

### ③新港周辺の活性化

**問** 新港周辺を中心に民間主導型の「道の駅構想」が浮上している。本市としてどのように取り組むのか。

**産業振興部長** 漁業関係者をはじめとする地域の方が連携し、地域の資源を漁業や観光の活性化につなげようと、地魚直売会の開催や地場産品の開発、また「6次産業化事業」として飲食店を併設した地魚の惣菜加工施設の開業準備など、来

訪者を受け入れる仕組みづくりが進められている。また、交通基盤の整備に伴い、多くの来訪者を呼び込むため、集客・交流機能を導入する必要があると考えている。さらに、漁業だけでなく、商業や観光業などの活性化も念頭に、大浜地区も含めた新港背後地と周辺の整備を検討していく。

### 内堀 祐一 議員

### 台風や豪雨への備え

**問** 河川の氾濫などによる被害を減らすためにはどのような方法があるのか。

**土木部長** 管理者である神奈川県に対して、河川の未改修部分の拡幅整備や、水位の上昇を防ぐための土砂の撤去を要望していく。本市の対策としては「内水ハザードマップ」のデータに基づき、浸水の頻度や費用

### 地域の活性化

**問** 「湘南の住みたいまちナンバーワン」を目指し、市民の関心が高い「花とみどり」を全面的に打ち出すことによるまちづくりが得意なかわ。

**都市整備部長** 花やみどりは生活に潤いを与え、心温まる空間を創出する。市民が花とみどりの恵みを受受できる、住みよいまちづくりを進めるに当たっては、市民一人ひとりの意識や関心を高め、緑化活動の裾野を広げることが効果的である。今後市民、事業者などが独自性を発揮しながら、連携、協働する仕組み

### 4月に発生した大雨・工場火災から

**問** 避難所を開設する大きな災害があったが、避難所の開設の判断基準と市民への周知方法を伺う。

**防災危機管理部長** 避難所の開設は災害対策本部が判断する。自然災害には判断基準を設けているが、火災はさまざまな状況が考えられるため、一定の判断基準はない。市民への周知には、防災行政無線放送や災害対策車などを活用していく。

### 出村 光 議員

### ひらつか花アグリ周辺道路の整備

**問** 施設周辺の道路整備は大変重要である。現在の整備状況と今後の計画を伺う。

**土木部長** 10路線の計画のうち、県道平塚桑野線からのアプローチ道路など6路線を整備した。真土金目線へのアプローチ道路や周辺の歩道設置などについては、条件が整い次第進める。

### 県道大島明石線の延伸整備計画

**問** 路線を北へ延伸する話があるが、内容が見えない。整備計画の進捗状況と今後の取り組みを伺う。

**土木部長** 周辺市町との広域行政推進協議会を通して、延伸を県に要望しているところである。

### 市長

本市の産業活性化に大きく資する道路になると考える。伊勢原市とも協働して延伸を進めていく。

しい、自転車の走行環境、利用環境などを組み入れた「自転車版総合計画」を策定していく中で、レンタサイクルの利活用についても検討していく。

**問** 地域の基盤を活性化するため、公民館や連合自治会、小学校が相互協力・相互利用できるような環境を作れないか。

**社会教育部長** 現在も相互協力が展開されており、今後も情報共有による相互連携に努めていきたい。

### 駅周辺の駐輪場整備

**問** 平塚駅周辺の駐輪場の整備と今後の方向性を伺う。

**交通政策担当部長** 駐輪対策の計画を策定し、整備を進めている。今年度は宝町に有料の自転車バイク駐輪場を整備する。今後は駅南側の整備を進めていく。

### 介護老人福祉施設の待機者対策

**問** 特別養護老人ホームの入所待機者が増加傾向にある。入所できない現実をどうとらえているか。

**福祉部長** 要介護度や家族介護者の状況、在宅生活の困難度などを点数化して入所順位を付けている。計画は在宅サービスなども複合的に勘案して作っていく。

**問** 次期計画の策定に向けた意見の調査・反映は。

**福祉部長** 平成25年度はアンケート調査や、ニーズなどの実態調査を行う。

※6次産業：農業や水産業などの第1次産業が、食品加工(第2次産業)や、流通・販売(第3次産業)にも業務展開すること。



**6月定例会**  
**総括質問**  
 主な質問と答弁

数田 俊樹 議員

**市長に問う**  
**三大事業について**

**問** 新庁舎建設事業の進捗状況と課題について伺う。  
**市長** 建物の地下と地上部分の構造体造っており、スケジュールどおり順調に進んでいる。今後の課題としては、新庁舎での業務を円滑に開始できるように移転を完了すること、新館を有効活用することがある。新館は今年度、耐震診断を実施するので、その結果を受けて改修を検討していく。

**問** 次期環境事業センター整備事業の進捗状況と課題について伺う。  
**市長** 建築工事、電気工事、衛生工事がともに仕上げの段階となっており、合わせて外構工事を行っている。プラント工事では、機器付属品の取り付け工事、電気計装工事を行っているほか、機器類の試運転も行っている。今後の課題は、7月1日から予定している試運転期間中の性能試験を着実に実施し、施設としての性能を確認したうえで、10月からの本稼働を順調に迎えることである。

**問** 市民病院整備事業の進捗状況と課題について伺う。

**清風クラブ**

**市長** 仮設バスロータリーの工事が完了し、既存の救急棟や管理棟などの解体工事を進めている。また新棟の工事のうち、電気工事は落札され契約に至ったが、入札が不調に終わった建築工事については条件などを変更して再公告をした。また、談合情報があり中止した空調工事と衛生工事については、再発注の時期や方法を検討しているところである。今後の課題については、建設地が周辺の住宅と近接していることや、病院敷地内での建て替え工事であることから、周辺環境や病院運営への配慮が必要であることなどが考えられる。

**問** 市役所新庁舎については、市民のために建設現場見学会を予定しているが、可能な限り多くの市民に見ていただけるよう継続して実施することを望む。  
**総務部長** 今後、こういったものを市民に見ていただくことがよいか検討して、できるだけ多くの市民に見ていただくことで、市民に開かれた新しい庁舎の建設を目指していきたい。

**野崎 審也 議員**

**介護予防事業の充実**

**問** 介護を受けずに自立して生活できる健康寿命を延ばすための一次・二次介護予防事業の取り組みをどう評価・分析しているのか。  
**福祉部長** 一次予防事業では、元気な高齢者を対象に介護予防に関する知識の普及・啓発や、自主的な活動の育成・支援を行った。二次予防事業では、学識経験者らによる地域支援事業検討会などで事業評価を実施しており、チラシの工夫や申し込み方法の変更で参加者を増やし、事業の効果の底上げを図りたい。

**問** 単に参加人数や参加回数を目標とするのではなく、介護予防事業を通じて生まれる効果や成果を検証・数値化していく考えはあるか。

**バーベキュー場の整備**

**問** バーベキュー場の整備については、先の3月定例会でも要望した。バーベキューを行える場所の整備と確保は市民のニーズも高く、受益者負担の仕組みで実施すれば初期投資額は回収できる事業だと考えている。歳入が減少し続けている状況下では、収益事業を積極的に実施していかねばならない。ぜひとも整備に向けた前向きな議論ができればと思うが、本市の見解を伺う。

**都市整備部長**

市民のニーズがあることは認識している。設置については、安全性や駐車場の確保、公園の利用者や施設への配慮、近隣住民への影響など多くの課題があり、どこで、どのような形態で市民にバーベキューを楽しんでいただくのか、今後検討していく。バーベキューを行うには一定規模の広さがないと不可能だと思うので、市が管轄しているいろいろな公園から条件に合うものを選択し、バーベキューを行うことが可能なのか、課題はあるが前向きに検討していきたい。

**福祉部長** 平成24年度から生活機能チェック表の内容や事業への参加履歴をデータ化している。今後追跡調査を行い、効果の有無を介護予防につなげたい。

**問** よい事例の発表による情報共有や、1年間健康で過ごした人への表彰状の進呈など、健康寿命につながる施策について考えを伺う。  
**福祉部長** 優秀な方を事業者が表彰するのはとてもよいことである。体験事例の共有も含め、今後の介護予防事業につなげたい。

**元気な高齢者支援策**  
**問** 「ひらつか元気応援ポイント事業」がスタートしてから1年以上経過したが、現状と課題、今後の進め方を伺う。  
**福祉部長** 1年を経過した時点での会員は148人、活動の受け入れ機関は34事業所であり、平成24年度にポイントを換金した会員は71人である。登録しても活動に結びついていない会員がいることや、新規会員が増えていないことが課題である。今後はアンケートの結果を基に、活動しやすい環境の整備を進めていく。

**問** 高齢者が草刈りや海岸清掃などのボランティア活動を行った場合も、元気な高齢者の支援策としてポイントが付与できないか。  
**福祉部長** ボランティア活動は、確認が難しいことが課題である。

**問** ポイントを換金せずに積み立て、将来自分が介護を受けたいときに使えるような制度を検討できないか。  
**福祉部長** 厚生労働省とも確認しながら研究したい。

**佐藤 貴子 議員**  
**健康なまちづくり**  
**を目指して**

**問** がん検診や歯科検診の啓発は、将来の経済的負担を軽減するうえで重要と考えるが見解を伺う。  
**健康・こども部長** 少子高齢化が進む中で、がん、心疾患、生活習慣病の予防を重視した健康づくりが重要である。生活習慣の改善、定期的な検診を受けるための正しい知識の普及、啓発は病気の予防にもなり、将来的には個人と社会全体の経済的負担の軽減につながる。

**問** 神奈川県では「がん克服条例」が平成20年4月から施行されているが、市民の安心や安全を守るという意味において、本市はなぜ条例を制定しないのか。  
**健康・こども部長** 歯科検診の条例化も含めた中で検討を進めている。

**問** がん検診の受診率が高まれば、約2億4500万円という健康増進事業の事業費が削減できるのではないかと。そのような目標はあるのか。  
**健康・こども部長** 受診率が上がれば、いすれ事業費は減ってくるという認識を持っている。

**経済施策ユニット**

**問** 商店街のユニバーサルデザイン化に向けて、どのような取り組みを行っているのか。  
**産業振興部長** 現在はユニバーサルデザインの導入に向けて、関心を高めるため

の大門通りは交通規制できないとの答弁だったが、今回規制されることになった。この経緯と、交通規制の拡大についての考えを伺う。  
**産業振興部長** 昨年11月に開催した実行委員会では、交通規制は実施しないとしていたが、大きな七夕飾りが掲出されることもあり、規制を実施することとした。交通規制の拡大は、自治会とも協議を行い、実行委員会でも検討していく。

**問** 中心商店街に、平塚の名産品や七夕土産を売る店、観光案内所を常設するなど、年間を通して取り組みが重要ではないか。  
**産業振興部長** 名産品の販売は近く実現できる。観光案内所も候補地があり、調整している状況である。

の啓発段階である。今後は会議やセミナーなどを通して、商工会議所などの関係団体と協働し、ユニバーサルデザインの導入に向けた機運を高め、商店会や個店との意見交換を進めていきたい。

**問** 平成30年4月に、精神障がい者の雇用が義務化されるが、そのための基盤作りが必要ではないか。  
**産業振興部長** 法の施行までの間、国の動向を注視しつつ、ハローワークや商工会議所、庁内関係部署と連携し、雇用促進に向けた環境づくりを進めていく。また、企業の理解を深め、障がい者の雇用が促進されるよう、本市の情報誌やホームページ、労働セミナーなどを活用し、制度の周知に努めていく。

**点字版議会だより**  
**声の議会だより**

**ご利用**  
**ください**

平塚市議会では視覚障がいのある方に向けて、ひらつか議会だよりの掲載記事を抜粋した「点字版議会だより」と、音声による「声の議会だより」をご用意しています。ご希望の方には郵送しますので、お近くに必要の方がいらっしゃる場合はご案内ください。

「点字版議会だより」は、市役所本庁舎1階市政情報コーナーや各図書館でもご覧いただけます。



「声の議会だより」は平塚市社会福祉協議会と平塚音訳赤十字奉仕団の協力により作成しています。

平塚市議会 議会局 (☎21-8791)

※ユニバーサルデザイン：性別、年齢、文化、障がいの有無などの差異にかかわらず、すべての人が快適に利用できるように建築物や生活空間などをデザインすること。

# 6月定例会

## 総括質問

### 主な質問と答弁

鈴木 晴男 議員

#### 市民病院整備事業

**問** 市民病院の新棟建築工事に際して、「空調」と「衛生」の工事の発注時に談合情報があり、平塚市公正入札調査委員会で審議したところ、公正性を妨げる内容があったことから入札の中止を決定した。これはどのような内容だったのか。また、今後の予定と参加企業に対する考え方を伺う。

**市民病院事務局長** 入札参加業者から提出された技術資料を精査したところ、複数の業者の技術提案に類似点があったことから、公正性を妨げる内容であるという疑念が生じた。今後の予定については、一日も早く工事契約を締結し、着工していく。また参加企業については、市内企業への配慮をしていく。

**問** 同じく「建築」の入札では、2回にわたる入札がともに不調となった。今回、再公告をするに当たって何を検討し、変更したのか具体的に示してほしい。

**市民病院事務局長** 不調という結果を受け、工事の範囲を変更している。また、今回の工事発注については「新労務単価」を適用する

## 公明ひらつか

とともに、労務単価が上昇していることを踏まえて、そのほかすべての設計単価も適正に見直しを行った。さらに、今回の入札は総合評価方式ではなく、入札参加条件付きの一般競争入札とした。

#### マネージメント

**問** 防災・減災対策としてさまざまな見直しや新たな取り組みが行われているが、先進的な取り組みや、予定より進んでいない取り組みなど、危機管理に対する総合的な評価や、主な取

り組みの進捗状況と今後について伺う。

**総務部長** 東日本大震災以降、主に「津波対策」「避難対策」「帰宅困難者対策」などの課題に対し、地域防災計画を見直すとともに、さまざまな防災・減災対策に取り組んできた。

#### ツインシティ整備事業

**問** このほどツインシティ大神地区土地区画整理組合設立準備会が発行したニューズの号外には、産業系と複合系の商業施設立地企業予定者が紹介されている。対象エリアごとの進捗状況と「ツインシティ橋」の今後の進捗について伺う。

**市長** 本市では、平成24年4月に「ツインシティ大神地区まちづくり計画」を策定し、組合設立準備会にお

さまざまなものがあるので必要性はある。ただ、対応するための体制が取れていないので、まずは研究していきたい。

#### 安心・安全の「みちづくり」

**問** 自転車の走行環境の課題と整備計画を伺う。

**交通政策担当部長** 歩行者、自転車の通行空間の確保を図る推進計画を策定し、路面の塗装を行うなど、ソフト・ハード両面からの取り組みを行っている。

**問** 歩道のない通学路の安全対策を伺う。

**交通政策担当部長** 道路の側線の敷設や引き直し、交差点のカラー舗装、カーブミラーや注意喚起看板の設置などの安全対策を実施した。また、地域の見守り活動などによる安全対策を行っている。

#### 熱中症の対策

**問** 喫緊の課題である高齢者の熱中症対策を伺う。

**健康・こども部長** 注意喚起の方法に課題がある。民生委員児童委員などが、日ごろの見守りの中で、水分補給と暑さに注意するよう呼びかけを行っている。

**問** 教育現場における熱中症対策の現状はどうか。

**学校教育担当部長** ミストシャワーを検討している学校に効果を伝え、積極的に設置するよう要請する。

に優れたコンクリートブロックへの改修・変更を進める。点字ブロックに求められるのは、安全性と認識のしやすさであり、視覚障がい者に危険がないよう、整備・維持管理に努めている。

**問** 新たな「校務支援システム」を構築するが、概要や期待される効果、稼働までのスケジュールを伺う。

**教育指導担当部長** 組織内のコンピュータネットワークによって教育委員会と学校間や教職員間の情報の共有と管理が迅速にできる。また児童生徒の情報・成績情報、保健・健康情報の一元管理などがペーパーレスで行えるため、校務の軽減を図ることができると。本年12月までに本市に適したシステムの仕様を構築し、来年4月から全面稼働する見通しである。

**問** セキュリティ管理の体制と、トラブルの防止策やトラブル発生時の対応策を伺う。

**教育指導担当部長** 個人情報報はデータセンターに保存し、保守管理を事業者に委託する。ハード面、ソフト面のトラブルへの対応につ

いては事業を円滑に推進するため、本年4月に複合系ゾーンや、産業系ゾーンの一部において立地企業予定者を公募し選定を行った。また、大神地区と寒川町倉見地区を結び「ツインシティ橋」については、ツインシティ大神地区の面整備に合わせて都市計画手続きを進め、対象となる地権者に対して、早期に説明会などを行っていく予定であると聞いている。

#### 秋澤 雅久 議員

#### 教育の情報化

には優れたコンクリートブロックへの改修・変更を進める。点字ブロックに求められるのは、安全性と認識のしやすさであり、視覚障がい者に危険がないよう、整備・維持管理に努めている。

**問** 新たな「校務支援システム」を構築するが、概要や期待される効果、稼働までのスケジュールを伺う。

**教育指導担当部長** 組織内のコンピュータネットワークによって教育委員会と学校間や教職員間の情報の共有と管理が迅速にできる。また児童生徒の情報・成績情報、保健・健康情報の一元管理などがペーパーレスで行えるため、校務の軽減を図ることができると。本年12月までに本市に適したシステムの仕様を構築し、来年4月から全面稼働する見通しである。

**問** セキュリティ管理の体制と、トラブルの防止策やトラブル発生時の対応策を伺う。

**教育指導担当部長** 個人情報報はデータセンターに保存し、保守管理を事業者に委託する。ハード面、ソフト面のトラブルへの対応につ

#### 市政への要望を市議会へ

### 「請願・陳情の提出方法」

市政や地域の身近な問題などに関する市民のみなさんの意見や要望などを直接市議会に提案できる制度として、「請願」と「陳情」があります。請願・陳情はだれでも行うことができます。

#### ■請願書・陳情書の提出方法

請願書・陳情書には、日付、住所、氏名(団体名・役職名)の記載と押印が必要です。宛て先は平塚市議会議長としてください。また、請願書には紹介議員の署名が必要です。なお、請願・陳情者が多数の場合は、「署名簿」を添付することができます。

#### ■提出の締め切り

請願の提出締め切りは本会議第2日目の午後5時です。陳情の提出締め切りは定例会で開催する議会運営委員会の2日前です。なお、請願・陳情者の住所・氏名などは一般に公開されます。あらかじめご了承ください。

◆記載方法などでご不明な点は議会局(☎21-8791)にお問い合わせください。

### 平塚市議会 議案審査の流れ

初日	①議案の提案説明	市長から議案(予算や条例など)の提案理由の説明を受けます。
2~5日目	②総括質問	議員が議案に対する質疑や市政全般についての質問を行い市長の説明を求めます。
	③委員会に付託	提案された議案などを、内容によって4つの常任委員会(総務経済、都市建設、教育民生、環境厚生)に付託します。
最終日	④常任委員会	付託された議案を各常任委員会で専門的に審査し、委員会としての賛成・反対の意思を決定します。
	⑤報告	各常任委員長が委員会での審査の経過や結果を報告し、質疑が行われます。
	⑥討論	議案に対して賛成・反対の意見が述べられます。
	⑦採決	賛成・反対の採決を行い、議案の可決・否決などを決定します。

**6月定例会**  
**総括質問**  
 主な質問と答弁

金子 修一 議員

**家庭ごみの有料化**

**問** 市の廃棄物対策審議会が、家庭ごみの収集の有料化に関する意見を市長に答申した。有料収集は近隣自治体も実施しているが、本市はどう考えているのか。

**市長** 大磯町・二宮町とのごみ処理広域化計画で「家庭系ごみの有料化」の検討を掲げている。有料化には十分な審議や、広く市民からの意見聴取を行う。

**問** 「戸別収集方式」も導入してはどうか。

**市長** 有料化と合わせて実施している自治体も多い。制度設計には十分な研究と議論が必要と考える。

**問** ごみ収集を民間委託したらどうか。

**市長** 部分委託を含めた検討が必要である。選択肢の一つとして検討していく。

**小学校の修学旅行**

**問** 県内の小学校で、宿泊を伴う修学旅行がないのは平塚市だけだがなぜか。

**教育長** 校外行事は各学校が計画しており、結果として実施していない。

**問** 教育委員会として、実施を指示できないのか。

**教育長** 保護者との話し合

**平塚クラブ**

いを基に、実施する場合は許可をする。これを機会に、校長会にも議論してほしいと伝えたい。

**給食調理場の民間委託**

**問** 学校給食調理場の民間委託についての考えを伺う。

**学校教育部長** 平成26年4月からの導入に向けて、検討と準備を進めている。

**土沢スポーツ広場指定管理の問題点**

**問** パークゴルフ場をはじ

**白井 照人 議員**  
**町内福祉村の成果と課題**

**問** 現在までに13の町内福祉村を立ち上げたが、今後さらに設立していくに当たって課題はあるか。

**福祉部長** 住民どうしが支え合い、助け合う、共助のボランティア精神をいかに浸透させ、理解していただくのが大きな課題である。

**問** 超高齢社会を迎え、今ボランティアをしている方がボランティアを受けられる側に回る時代がいずれやってくる。奉仕する心を持つ市民を育てること、「心を持った人づくり」について考えを伺う。

**市長** これから地域を支えていく子供たちに、そのようなボランティア精神や、地域づくりに取り組む熱意

**空き家・空き地等の適正管理**

**問** 本市には、適正管理されていない空き家・空き地がどれくらい存在するのか。

**環境部長** 問題があると思われる空き家・空き地等は80戸ほどと推察される。

**問** 納税台帳から所有者を特定し、指導できないのか。

**環境部長** 所管部署が管理しているが、個人情報であり、慎重に行うべきである。

**問** 所有者を特定しないことには指導もできない。仕組みをきちんと作っていくべきではないか。

**まちづくり政策部長** 条例の改正や新設も含めて研究していきたい。

**資源ごみの持ち去り対策**

**問** ごみステーションから

拡大などで、利用者の増加による増収に努めたい。

**問** 指定期間は原則5年だが、短縮して赤字の垂れ流しを見直すことも「勇気」ではないのか。

**市長** 予算を使うからには、しっかりと検証して運営する。

**問** 四之宮のグラウンドも県の土地だが、地元の人たちが一生懸命管理している。土沢では、5年の指定期間で1億円以上の赤字が出る。指定期間は3年を提案したい。見直しは市長の英断にかかっている。

**市長** 受益者による負担も含めて十分考えたい。一定期間が経過したら、効率性を

の検証をしたい。

**中学生の警察補導**

**問** 市内中学生の補導件数は、平成23年が1568件、24年が961件で、内容は80%が深夜徘徊、20%が喫煙であった。対応には地域や家庭の協力が必要だと思うが、どのように体制を構築するのか。

**教育指導担当部長** 地域で児童生徒の問題行動や前兆に対応し、指導・支援を行う事業を展開している。家庭への働きかけを強化するため、行政やスクールソーシャルワーカーも連携して予防・改善に努めていく。

日々の活動を写真で紹介

**市議会の動き**



次期環境事業センターを視察する兵庫県加古川市議会のみなさん

平塚市には他市からの行政視察も頻りに訪れます。7月には秋田県由利本荘市、兵庫県加古川市、埼玉県川口市のほか全国各地から市議会議員が訪れ、市の事業や施設などを視察しました。



秋田県由利本荘市議会

**三大事業の建設現場を視察**  
**市役所新庁舎・次期環境事業センター**

6月3日に市役所新庁舎と次期環境事業センター(ごみ焼却施設)の建設現場を視察し、多くの議員が工事の進捗状況を確認しました。



平成26年度の一部供用開始に向けて建設が進められる市役所新庁舎(浅間町)

今年10月の本稼働に向け整備が進む次期環境事業センター(大神)



# 6月定例会

## 総括質問

### 主な質問と答弁

**松本 敏子 議員**

#### 生活保護基準の見直しから

**問** 生活保護法改定の問題は、生保の支給申請を抑制させる「水際作戦」を合法化する点にある。申請の抑制によって、全国で餓死者や自殺者が出ている。今回の改定を市はどう考えるか。

**福祉部長** 法改正の目的は書類添付の規定を明確にするもので、方法は今までと変わらない。申請書類を提出しなくても却下とはならない。憲法25条の理念に基づき、人権を尊重し、適正な保護の実施に努める。

#### 子ども・子育て支援新制度について

**問** 新制度で本市の幼稚園と保育園がどう変わるのか。

**健康・子ども部長** 幼稚園、保育園の所管が内閣府に一本化され、例えば幼稚園では、保育機能を持つ「幼稚園型認定こども園」となることも可能である。

**問** 横浜市では、認可保育所の4分の1が株式会社による運営だが、本市における参入の考え方を伺う。

#### 日本共産党平塚市議会議員団

**問** 以前、「生活保護の相談に行ったら帰され、後に自殺した」とも調べることはできない」と担当課から聞いたが、今でもそうか。

**福祉部長** 実際にそういう方がいたが、また調査しているか不明である。

**問** 平塚市では毎年、多くの自殺者が出ている。そこが把握できなければ、生活保護事業の検証も、自殺対策もできない。実態を調べ、生活苦の人が適正に保護を受けられる体制を作ることが必要ではないか。

**福祉部長** 福祉総合相談窓口と連携し、対応したい。

#### 二ト・ひきこりの若者の就労支援

**問** ニートや引きこもりの若者が増えている。市として社会的就労支援の取り組みが必要ではないか。

**健康・子ども部長** 不採算による急な撤退や、突然の倒産などの不安要素もあるため、現時点では計画に入っていない。

#### 産業振興部長

**問** 以前、「生活保護の相談に行ったら帰され、後に自殺した」とも調べることはできない」と担当課から聞いたが、今でもそうか。

**福祉部長** 実際にそういう方がいたが、また調査しているか不明である。

**問** 平塚市では毎年、多くの自殺者が出ている。そこが把握できなければ、生活保護事業の検証も、自殺対策もできない。実態を調べ、生活苦の人が適正に保護を受けられる体制を作ることが必要ではないか。

**福祉部長** 福祉総合相談窓口と連携し、対応したい。

#### 厨芥類資源化施設導入調査報告書から

**問** 全量焼却と比較してメリットがないとの調査結果が出たが、どう考えるか。

**環境部長** 今後、施設整備の必要性について慎重に検討することを、大磯町・二宮町と確認した。

**問** 住民へのごみ減量の啓発活動とともに、事業者が排出するごみの抑制も必要だが、指導の状況を伺う。

**環境部長** 事業者にごみの減量計画書の提出を求めているが、搬入量は増えており、大型処理機などの導入をお願いしている。

#### 無所属

**問** 4月の豪雨の際、橋を渡るルートで避難誘導が行われた。また避難所が開かず、雨の中待たされる事態が起こったが、どこに問題があったのか。

**市長** 一時避難所が活用できなかった点は、今後地元とも連携し、安全な誘導に努める。避難所の早期開設に向けて体制も見直した。

**問** 堤防のかさ上げと、五領ヶ台高校跡地への避難所の設置はどうなったのか。

**市長** 堤防のかさ上げ工事は7月に完成する。避難所設置は県に再度要望した。

#### 江口 友子 議員

**「現状維持したい」**

**問** 経済的な理由で就学が困難にならないよう学用品費等を支給する「就学援助制度」の対象者と基準は。

**学校教育部長** 生活保護受給世帯のほか、申請により前年度収入が生活扶助基準の1・35〜1・5倍の世帯に支給する。

**問** 生活保護法の改正で生活扶助基準が下がることが予想されるが、支給レベルと支給額を維持してほしい。

#### 無所属

**問** 結局、集めたプラクルはすべて焼却している。「排出抑制こそが大事なんだ」とPRするべきである。また、本市は炊飯器や電子レンジなどの小型家電のリサイクルを始めようとしているが、移送後、破砕して焼却することになる。コストを考慮し、再度検証してほしい。

**環境部長** どのような方法がよいか検討中である。

#### 吉野 和美 議員

**「排出抑制の重要性PRを」**

**問** プラクルは製鉄所で工業原料として使われているということだが、具体的にどうしているか。

**環境部長** 平成24年度は高炉で燃焼・焼却した。

#### 無所属

**問** 今後、経常収支比率と公債費負担比率の悪化は避けられず、地元経済の停滞や、懸念される税収の低下による財政の窮迫が身近に迫っている。政策の危機ともしうべき発想に立ち、撤退、廃止、凍結、中止を含む政策変更を大胆に行っていくべきではないのか。

**企画政策部長** 政策の重要度や緊急度、財政状況や市民のニーズなどを総合的に判断し、状況に応じて、事業の凍結や廃止を検討することも必要と考えている。

**問** 行政施策の中で一番大切な総合計画に対しても、もっと大胆な政策変更が必要だと思う。当然、抵抗はあるが、ためらったり対応が遅れたりすれば、大きな損失と困難が生まれる。市長がリーダーシップを前面に出して方向性を示し、職員士の士気を鼓舞できるようにしてほしい。

**健康・子ども部長** すべてを民間化するのではなく、5〜6園の民間園に対して公立園を1園配置すること

**健康・子ども部長** すべてを民間化するのではなく、5〜6園の民間園に対して公立園を1園配置すること

**健康・子ども部長** すべてを民間化するのではなく、5〜6園の民間園に対して公立園を1園配置すること

**健康・子ども部長** すべてを民間化するのではなく、5〜6園の民間園に対して公立園を1園配置すること

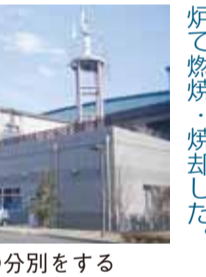
**健康・子ども部長** すべてを民間化するのではなく、5〜6園の民間園に対して公立園を1園配置すること

### 平塚市議会WEB

市議会ホームページで議員の構成や市議会のしくみなどを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

6月定例会の会議録は8月下旬に市議会ホームページに掲載します。

平塚市議会 検索



プラクルの分別をするリサイクルプラザ

### 専決処分を承認 市議会5月臨時会

去る5月16・17日の両日、平塚市議会は臨時会を開催し、正副議長や常任委員会委員などの改選を行いました。また、この臨時会では、市長から専決処分の承認や行政委員の選任にかかる議案などが提出され、審議の結果下表のとおり承認・同意しました。

#### 5月臨時会 議案の審議結果

番号	件名	結果
議案第40号	専決処分の承認について (平塚市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第41号	専決処分の承認について (平成24年度平塚市一般会計補正予算)	承認
議案第42号	固定資産評価員の選任について	同意
議案第43号	監査委員の選任について	同意
議案第44号	監査委員の選任について	同意
報告第2号	専決処分の報告について	

な体制をとり、物事を進めるべきではないか。

**市長** 行政をつかさどり、進めていくことは私の責任である。市の理事者などには自分の意思を伝えていく。平塚をどのようにしていくかしっかりと指示をして、それに沿って行政サービスを進めていきたい。

**問** 余裕のあるうちに、事業を今一度見直すべきだと思う。歳出を削減するだけでなく、基礎的財政収支の改革自体が進まなければ、困難だけが見える。その結果、市民が負担を受けることになってはならないと考えるか。

**市長** 総合計画への位置づけなどを含めた中で決断していきたい。反発もあると思うが、十分に説明し、判断を下していきたい。

# 6月定例会の質問者と主な項目

( )内は質問時間

<b>府川 正明：湘南フォーラム (30分)</b> 1 報告第6号 公益財団法人平塚市文化スポーツまちづくり振興財団の経営状況について 2 市長に問う (1) 工事入札について (2) 安心・安全のまちづくり 3 新港周辺の活性化 4 子どもの貧困対策は 5 孤立死・孤独死の対応は	<b>金子 修一：平塚クラブ (30分)</b> 1 家庭ごみ有料化に向けての対策 2 平塚市内小学校の修学旅行の実施状況 3 学校給食調理場の民間委託 4 土沢スポーツ広場指定管理者制度の問題点 5 平塚市内中学生の警察補導への対策 <b>松本 敏子：日本共産党平塚市議会議員団 (25分)</b> 1 生活保護基準の見直しから 2 社会的就労支援について (1) ニート・ひきこもりの若者の就労支援 3 1市2町ごみ処理広域化における厨芥類資源化施設導入調査業務報告書から 4 金目川の堤防の崩落から学ぶ <b>山原 栄一：湘南フォーラム (25分)</b> 1 落合市長就任2年を経て、これからの取り組みを問う (1) 平塚市の行財政運営について (2) 平塚市の待機児童対策について 2 諸課題 (1) 4月に発生した大雨・工場火災から	(1) 七夕まつりの活性化 (2) 公共交通ネットワークの整備 (3) 駅南口広場のあり方 <b>小笠原 千恵美：公明ひらつか (20分)</b> 1 医療費の適正化について (1) 「胃がんリスク検診」の導入に向けて 2 安心・安全の「みち」づくり (1) 自転車の走行環境整備 (2) 通学路の安全対策 (3) 視覚障がい者誘導用ブロックの整備 3 熱中症の対策について (1) 本市の取り組み	(3) 公民館等の情報発信と活用 3 自転車事故について <b>佐藤 貴子：清風クラブ (20分)</b> 1 健康なまちづくりを目指して (1) がん検診等 (2) 歯科検診 2 経済施策について (1) 誰にもやさしい商店街づくりの推進 (2) 就労支援の推進
<b>数田 俊樹：清風クラブ (30分)</b> 1 市長に問う (1) 三大事業について (2) 日産車体(株)湘南工場第1地区の跡地利用について (3) 地域の元気臨時交付金について 2 農業政策について (1) 人・農地プラン (2) 産業間連携と行政の役割 3 諸課題 (1) パーベキュー場の整備 (2) Shonan BMWスタジアム平塚の改修	<b>野崎 審也：清風クラブ (28分)</b> 1 長寿社会を楽しみ安心して生き生きと暮らせるまち (1) 介護予防の充実 (2) 生きがいつくりの推進 (3) 介護サービスの充実 (4) 住まいについての支援 2 諸課題	<b>臼井 照人：平塚クラブ (22分)</b> 1 町内福祉村の成果と課題 2 空き家・空き地等の適正管理について (1) 今後の進め方と方向性 3 資源ごみの持ち去り対策 (1) 現状認識と今後の取り組み	<b>秋澤 雅久：公明ひらつか (15分)</b> 1 教育の情報化について 2 公民連携による住宅政策について (1) 市営住宅行政 (2) 高齢者の居住の安心確保
<b>鈴木 晴男：公明ひらつか (30分)</b> 1 市長に問う (1) 市民病院整備事業について (2) リスクマネージメントについて (3) ツインシティ整備事業について (4) 指定管理者について (5) 自然環境エネルギーについて	<b>渡辺 敏光：日本共産党平塚市議会議員団 (14分)</b> 1 子ども・子育て支援新制度について 2 平塚市幼保一元化に関する検討会の中間報告から 3 消防長に問う (1) 初期消火と最近の火災の教訓	<b>内堀 祐一：湘南フォーラム (20分)</b> 1 台風や集中豪雨の備えについて 2 地域の活性化について (1) 緑と花を利用したまちづくり (2) 夏季の海水浴客の集客	<b>出村 光：湘南フォーラム (16分)</b> 1 道路行政について (1) ひらつか花アグリ周辺道路の整備 (2) 県道大島明石線の延伸整備計画 2 平塚駅周辺の駐輪場・パーキングメーターについて 3 介護老人福祉施設の待機者対策
			<b>江口 友子：無所属 (15分)</b> 1 学びの機会均等のための方策 (1) 就学援助事務について 2 平塚市の廃棄物処理行政について市長の見解を問う (1) ごみの減量とリサイクルの推進
			<b>吉野 和美：無所属 (15分)</b> 1 財政と事務事業の進行管理について

## 常任委員会の審査概要

今定例会に上程された議案は所管の委員会に付託して審査を行いました。

### 総務経済 常任委員会

議案4件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆主な質疑  
 ○議案第48号「特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例」  
 地域福祉計画策定委員会委員の報酬額「1万1300円」は、これまでの例に沿って定めたとするが、どのような根拠でこの金額を設定したのか。

○議案第52号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」  
 防災対策費で、堤防の損壊の被害が出た金目地区の一時避難所に、必要な資材を配備するための予算が措置されているが、ほかの自治会から同様の要望があった場合はどのように対応するのか。

### 選挙 常任委員会

選挙の投票立会人と期日前投票立会人の報酬の額を、「日額またはその2分の1の額」から「日額を超えない範囲内で定める額」に改定する理由は何か。

○議案第50号「平塚市体育施設及び学校運動場夜間照明施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例」  
 大神スポーツ広場の利用を有料化するが、料金設定の根拠は何か。

○議案第52号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」  
 学校図書館の図書購入費が計上されているが、どのように選定するのか。

### 環境厚生 常任委員会

議案2件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆主な質疑  
 ○議案第52号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」  
 生活保護費に「システム改修委託料」が計上されているが、理由は何か。

○議案第50号「平塚市体育施設及び学校運動場夜間照明施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例」  
 国の審議に関する情報を、県を通して得ている。現在の情報に沿って事前に試行しておく必要があることから、ここで補正予算を計上した。

### 都市建設 常任委員会

議案2件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

◆主な質疑  
 ○議案第49号「平塚市土屋敷条例の一部を改正する条例」  
 土屋敷の管理の方法を業務委託から指定管理者に変えるのはなぜか。

○議案第50号「平塚市体育施設及び学校運動場夜間照明施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例」  
 高年齢者の利用が多い特殊な施設であることを考慮し、サービスの効果が期待できるためである。

指定管理を導入することとで要望や苦情への対応に影響は出ないのか。  
 管理者との連携を密にしたい。

### 教育民生 常任委員会

議案2件を審査し、すべて原案どおり可決すべきものと決定しました。

○議案第52号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」  
 利用料を取ることに伴い、トイレなどの設備の充実を図るべきではないか。

○議案第50号「平塚市体育施設及び学校運動場夜間照明施設の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例」  
 清掃などを今以上に行うとともに、利用状況を見て検討していきたい。

○議案第52号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」  
 学校図書館の図書の購入費が計上されているが、どのように選定するのか。  
 司書と図書専門の先生が相談し、学校の教育や児童生徒の情操・教養を高めるための図書を選定している。

○議案第52号「平成25年度平塚市一般会計補正予算」  
 国や県からの補助金をしっかりと活用してほしい。  
 庁内で連携しながら情報を共有し、今後も活用に向けていきたい。

市議会6月定例会

議案の審議結果



6月定例会では、市長提案による9件の議案と議員提案による2件の会議案について審議し、すべて原案どおり可決しました。

○賛成 ×反対

Table with columns for item number, item name, and voting members (湘南フォーラム, 清風クラブ, etc.).

可決した意見書

6月定例会では、議員提案による2件の意見書を可決し、内閣総理大臣のほか関係機関に提出しました。

子どもたちにゆたかな学びを保障するために、少人数学級の推進などによる定数改善、教育予算の増額、義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書(抜粋)

子どもたちにゆたかな学びを保障するために、子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。...

- 1 子ども、保護者のニーズに応じたきめ細かな教育を実現し、ゆたかな教育環境を整備するため、少人数学級の推進などによる定数改善をはかること。
2 保護者負担軽減のため、教育予算を増額すること。
3 義務教育制度は、教育の機会均等、水準確保、無償制を根幹としている。...

神奈川県最低賃金改定等についての意見書(抜粋)

2013年の神奈川県最低賃金の諮問・改定に関して、次の事項について、特段の配慮をされるよう強く要望する。

- 1 神奈川県最低賃金の諮問・改定を早期に行うこと。
2 地域別最低賃金の改定にあたっては、2009年度の神奈川県最低賃金審議会が公労使が結審した神奈川の「生活保護との整合性」を図る観点から、生活保護とのかい離解消を本年度で実現すること。
3 特定(産業別)最低賃金の改定にあたっては、法が定める以下の役割等が果たされるよう、その趣旨および内容の周知徹底を強化されること。
①当該産業の労働条件の向上または事業の公正競争の確保の観点から、地域別最低賃金より金額水準の高い最低賃金を必要と認め、関係労使のイニシアチブにより設定するものであること。
②上記の位置づけを踏まえ、地方最低賃金審議会における「必要性審議」にあたっては、従来の本審での審議だけでなく、当該産業の労使が入った場(専門部会等)も含めた審議方法も含め、どちらかの審議方法を適用するかについて、地方最低賃金審議会にて決定すること。

Table with columns for party names and member names.

請願の審査結果

Table with columns for item number, item name, committee, committee result, and council result.

市議会を傍聴しませんか



市庁舎の建て替えに伴い、市議会の本会議と常任委員会は勤労会館で開催しています。

9月定例会の予定

Table with columns for date and meeting name.

※開会は午前10時の予定です